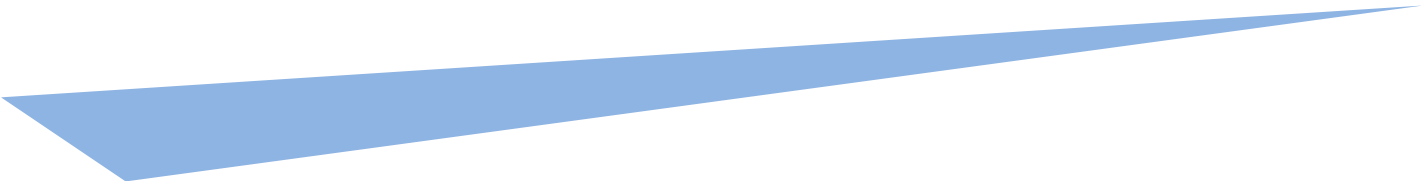


まちづくりに関する 昨今の取組状況について



佐賀市

県都・佐賀市リーディング会議



佐賀県と佐賀市が一体となって
県都のまちづくりを強力に推進する

佐賀市中心部 まちづくりの方向性 [南北中心軸の強化]

(1) SAGAサンライズパーク整備を起爆剤に

- 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会
- アリーナの集客力による交流人口増／活性化

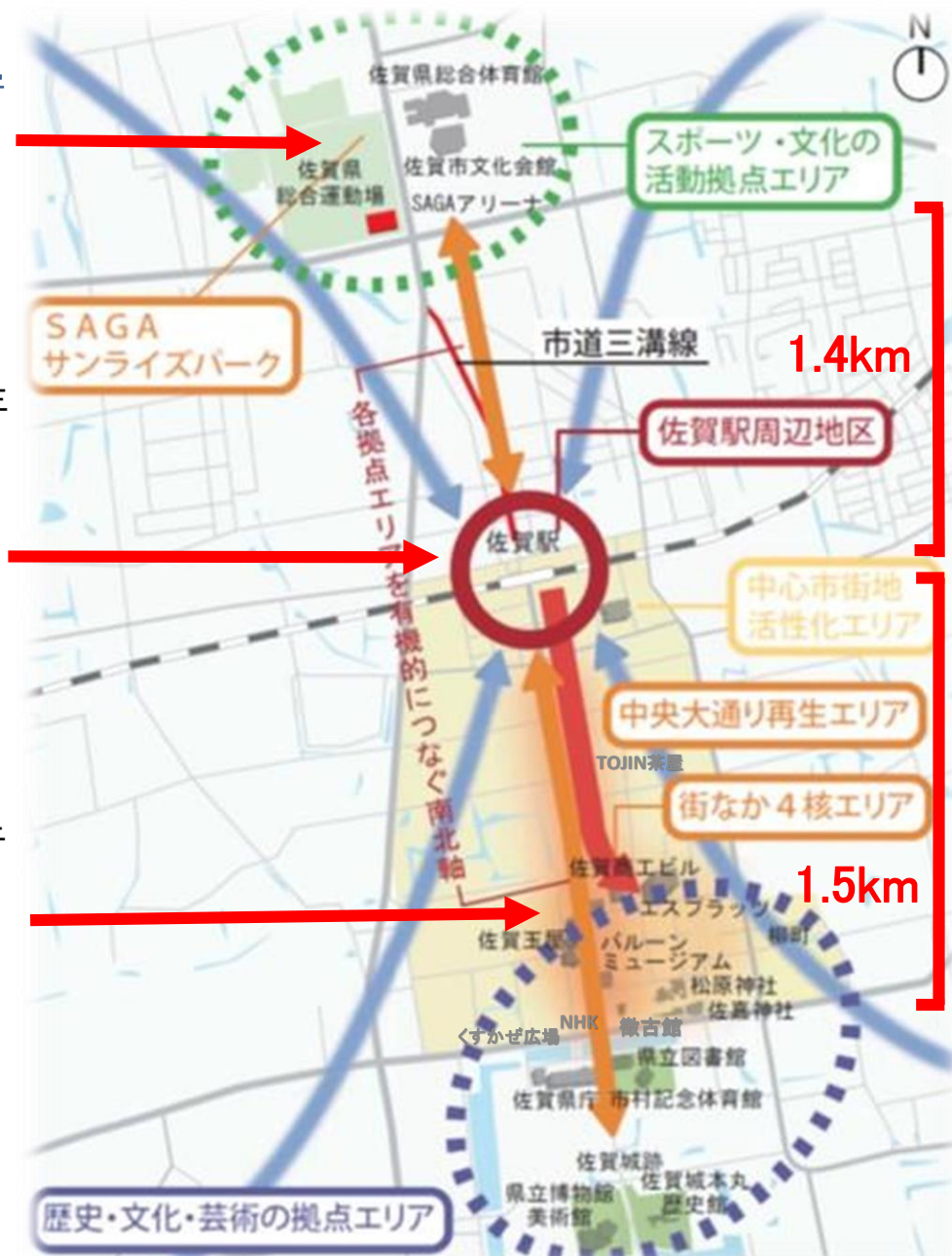
(2) 佐賀駅周辺の人のがれを活かす

- 駅、バスセンター等の利用者延1,200万人／年
- 訪日外国人客の増加(新型コロナ以前)
- ＜R4年度 新幹線西九州ルートの新開業＞

(3) 中央大通りを再生する

- 駅と4核エリア・城内エリアをつなぐ動線の強化
- 避難路指定に伴う沿道建築物の解体等の進行
- 国の施策との連動(ウォークアブル推進都市)
- 松原公園周辺は歴史・文化エリアの重要拠点

佐賀駅を中心に街の南北軸を強化し、賑わいの波及効果を生み出す



新しい県都づくり

SAGAサンライズパーク～佐賀城公園

佐賀駅を中心に、
SAGAサンライズパークから
佐賀城公園までの南北軸が
県都・佐賀市のまちの背骨に

『**県都・佐賀市**
リーディング会議』

第1回 2月7日 開催！

県都・佐賀市の魅力を高める
まちづくりを議論



坂井市長 定例記者会見 発表資料 2022年1月18日
～ 佐賀県との協働によるまちづくりを目指す ～

パーク周辺
エリア

- ・SAGAサンライズパーク周辺整備【縣市】
- ・MICE誘致体制整備【縣市】（コンベンションビューロー）縣市連携会議 R1～

佐賀駅周辺
エリア

- ・三溝線整備【市】
- ・駅周辺整備【市】
- ・佐賀駅南県道(200M)整備【県】
- ・まちかど広場再整備【縣市】
- ・旧西友駐車場再開発【市】
- ・佐賀駅BC再整備【市】

市道三溝線再整備検討会 H30～

佐賀駅前広場整備活用検討会議 R1～

中央大通り
周辺エリア

- ・中央大通り再生【市】(TOJIN茶屋整備)
(街なかブランディング) (ナイトテラスチャレンジ等ソフト)など

中央大通り再生会議 R2～

- ・松原公園第2期整備【市】

松原公園周辺まちづくり懇話会 R3～

佐賀城公園
エリア


- ・くすかぜ広場整備【県】
- ・市村記念体育館再整備【県】

共通

- ・トータルデザイン、歩く仕掛けづくり等
- ・企業、団体、マスメディア等との連携 など

中央大通りを再生する

<中央大通り再生会議>



佐賀城エリア（知と学び、歴史と文化のエリア）

へとつながる 県都・佐賀市の中心地の再生

情勢の変化 - 1 ~佐賀駅周辺整備やSAGAサンライズパーク整備等の進展~



~佐賀駅周辺を中心とした交流人口の拡大~

佐賀駅を中核とした
各拠点エリアを有機的につなぐ
街の“**南北軸**”の強化

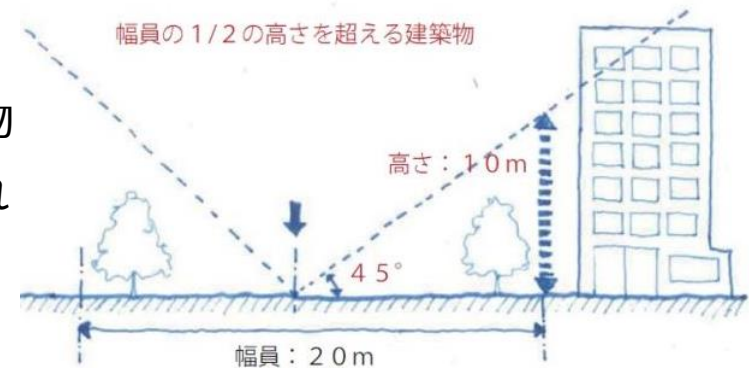
●避難路（耐震診断義務化路線）の指定について

目的 | 災害時の建築物等の倒壊に伴う道路の通行障害により避難困難となる事態の防止

根拠 | 耐震改修促進計画（佐賀県・佐賀市）の改正（平成30年8月）

内容 | 避難路沿道建築物の耐震診断の義務化

- ①昭和56年5月31日以前（旧耐震基準）の建築物
- ②倒壊の場合、前面道路の過半を閉塞するおそれのある建築物 [右図参照]

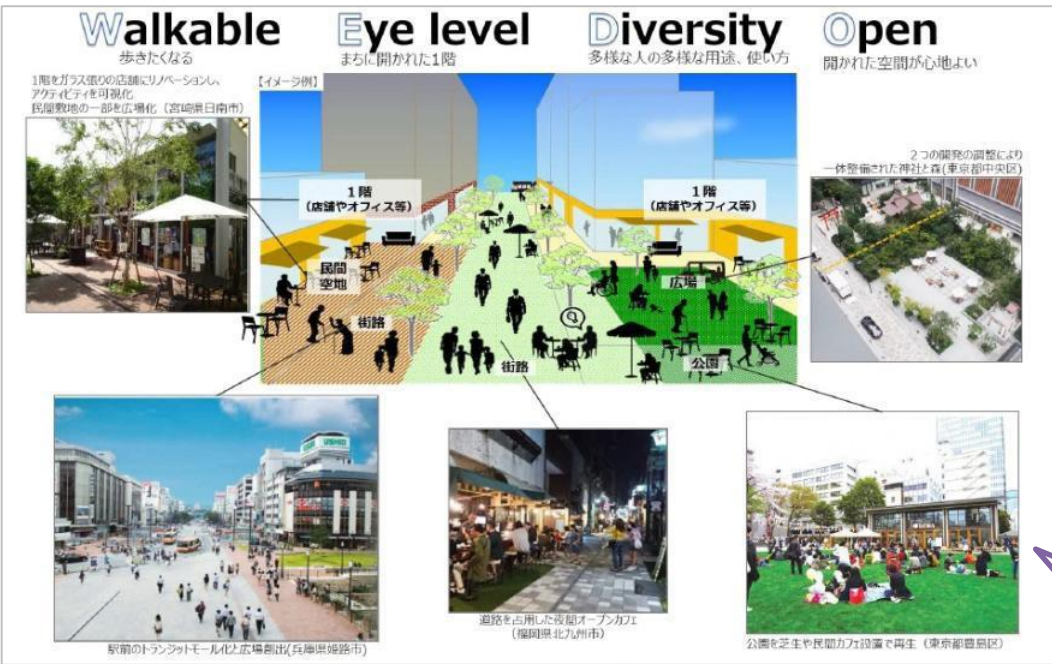


➡ **中央大通りが「避難路」に指定**：沿道建築物のうち**約30棟**が耐震診断義務化建築物に
(例 **旧TOJIN茶屋**：H30の耐震診断により耐震性能が不足と判定)

～建築物の解体等の進行が予測～

トータルデザインに即した**“新陳代謝”**を促す
更なる誘導策が必要

● 「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりの推奨（国交省）



- 人々が安全・快適に滞在できる空間の確保
- コンパクト・プラス・ネットワーク政策の加速化
 - ・ 人々の出会いや交流を通じたイノベーションの創出
 - ・ 新たな雇用やビジネスの拡大
 - ・ 沿道商店街の売上げ上昇、地価の下げ止まり 等
- 人にやさしい空間の創出
 - ・ まちへの愛着の醸成、持続可能な地域づくり 等

【参考】「ストリートデザインガイドライン」（令和2年3月）
国土交通省都市局・道路局

国において、「ウォーカブル推進都市」の理念に基づき、
多様な財政支援制度（補助制度、税制等）が創設

～国の取組に呼応し「ウォーカブル推進都市」に登録（R1.8）～

**“居心地が良く歩きたくなる”空間の
創出に向けた取組の促進**

今後の進め方① <中央大通り再生の取組を加速>

中央大通り（沿線）の将来像 <中央大通り再生会議>

中央大通り（沿線）の将来イメージ



エリア-C

憩いと育みが共存する 街なかネットワークエリア

市民や来街者が交流できる / 城内・松原エリアとの一体感がある
佐賀の歴史・文化を受け継ぐ人材を育成する / 拠点施設との連携を図る

【期待される機能】



今後の進め方② <中央大通り再生の取組を加速>

中央大通り（沿線）の将来像 <SAGAスマート街なかの創造>

SAGAスマート街なかプロジェクト実証事業

○事業コンセプト

中心市街地の活性化

住む人・来る人に、できる限り長く街を歩いてもらう
～歩いて楽しめるウォーカブルシティ化（来たい・住みたい・働きたい街の形成）～

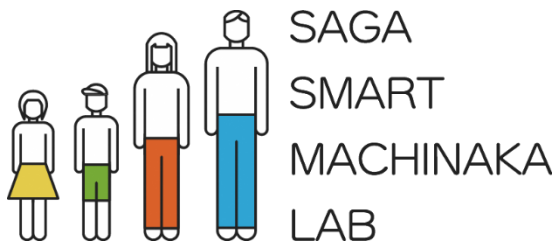
×



SAGAスマート街なかプロジェクト実証事業

AI、IoTなどの デジタル技術

- ・佐賀市の中心市街地をAI、IoTなどの技術やデータ利活用を通じ、利便性を向上させ過ごしやすい街にするための実証プロジェクト（2021～2022年度）
- ・スマートシティやスーパーシティといった取組が全国的に広がる中、佐賀市では「中心市街地の活性化」の分野から小さくはじめ、エリアの実態やニーズに適応した取組を展開
- ・未来技術の導入ありきではなく、市民や来街者等と、何をどのように活用していくかを共に考え、共に創る取組を同時展開



○中央大通り沿線の「土地利用方針」に沿った機能配置を促すことによって「将来像」を実現できるように、民間投資の各フェーズに対応できる「佐賀モデルのパッケージ型・民間投資喚起策」を構築



[土地利用方針に沿った機能配置の促進]

